



# 創設百周年記念：感謝と決意を込めて ～「良き臨床医」「優れた医学研究者」「熱意ある医学教育者」の育成を次の百年へ～

日本大学 医学部長 木下 浩作

本学医学部は令和7年3月31日をもって創設百周年を迎えました。この記念すべき節目を祝う「日本大学医学部創設100周年記念式典並びに記念祝賀会」が、10月26日にホテルオークラ東京にて盛況のうちに開催されました。御臨席賜りました日本大学理事長、学長をはじめとする関係者の皆様、そして学内外からお集まりいただいた全ての関係者の皆様に、心より深く感謝申し上げます。何よりも、百年の長きにわたり本医学部の発展を支えてくださった同窓生、地域住民の皆様に、改めて心からの敬意と御礼を申し上げます。

式典では、日本大学の林理事長、大貫学長をはじめ、主賓として全国医学部長病院長会議会長の相良博典教授（昭和医科大学病院長）、日本私立医科大学協会会长の炭山嘉伸教授（東邦大学理事長）より、温かい御祝辞を賜りました。本学医学部の長い歴史と社会への貢献に対する心強い激励の言葉は、教職員一同の大きな励みとなりました。御祝辞に続いては、創設百年の歩みをまとめた記念動画を上映しました。百年にわたる医学部の歴史を振り返りながら（写真1）、これまで支えてくださった諸先輩方への深い感謝の意を表すとともに、「次の百年へ向けた新たな挑戦」への決意を述べさせていただきました。教職員が手づくりしたこの動画は、懐かしい校舎や同窓生の活躍の様子を映し出し、御参加の皆様には当時を懐かしく、力強く感じていただけたようです。

式典終了後には、同ホテルにおいて日本大学医学部同窓会との共催による記念祝賀会が催されました。祝賀会では、吉澤明孝（58回生）日本大学医学部同窓会会长の御挨拶、御来賓の坂本健 板橋区長、浅井万富 日本大学業務執行理事、安藤高夫（57回生）衆議院議員より、心温まる御祝辞をいただきました。特に、吉澤同窓会長からは、今後本格化する新学部棟・新病院棟の建設に向け、建築費高騰の折から、同窓生の皆様に母校の発展のため一層の御寄付などの御協力をいただきたいとの力強い呼びかけがありました。

伊藤大介先生（61回生）御紹介の銘酒「百春」で鏡開き（写真2）が行われ、副学長の兼板佳孝先生（65回生）の乾杯

の御発声後、会場は和やかな歓談の輪に包まれました。祝宴の中では、過去10年間で本学部の発展に多大なる御貢献をいたいたいた寄付者代表の方々や、日本大学医学部永澤奨学生（故・永澤滋先生）寄付者の御関係者の方へ感謝状を贈呈いたしました。

御参加の皆様からは「手づくり感があり、とても良い式典・祝賀会だった」と多くのお言葉をいただき、華美な演出ではなく、自然と参加者の皆様の心が繋がったと感じられる、「日本大学医学部らしい」温かな記念行事となりました。

日本大学は、1889年に初代司法大臣・山田顕義先生により創設された日本法律学校を起源とする、日本最大規模の総合大学です。その中で本学医学部は、大正時代、近代化の進む日本社会における医師不足という喫緊の課題に応えるべく、初代医学科長となられた額田豊先生の尽力により1925年に設立されました。

額田先生の「医学は人間の幸福（しあわせ）を実現する学問である」という強い信念と卓越した指導力が、今日の日本大学医学部の歩みの基礎となっています。この「人間の幸福」を追求し、人間性を重視する医学教育こそが、後に具体的な3つの目標である「良き臨床医の育成」「優れた医学研究者の育成」「熱意ある医学教育者の育成」として確立されました。この普遍の理念は、時代を超えて実践と継承を繰り返すことで、本学医学部の最も重要なアイデンティティとなっていました。

百年の歴史を振り返るとき、常にこの理念を胸に刻んだ卒業生の方々は、戦争や震災、未曾有の災害時や、コロナウイルス感染症のパンデミックにおいても、地域社会に根付き「人々の命を守る使命感」を胸に、全国各地、そして世界の医療現場で活躍し続けてきました。附属板橋病院や日本大学病院は、地域医療への貢献とともに、高度医療を提供する特定機能病院としての役割を果たし、地域社会からの信頼に応えてまいりました。

この百周年は、単なる過去の称賛に留まらず、次の百年を見据えた新たな出発点となります。超高齢化社会の進展、新たな感染症の脅威、AIやデジタル技術の導入など、医学・

## 創設百周年記念：感謝と決意を込めて

～「良き臨床医」「優れた医学研究者」「熱意ある医学教育者」の育成を次の百年へ～

日本大学医学部 学部長 木下浩作

医療を取り巻く環境が大きく変化する中で、私たちは常に変化に適応し、未来を切り拓いていく必要があります。

これまで、地域医療・高度医療・学術研究の柱を基盤の柱を基盤に人材育成を行い、数多くの医師を社会へ送り出してきました。現在、板橋キャンパスでは、新たな未来を見据えた再整備計画が進行中です。教育研究機能を集約した新学部棟、さらに新病院棟の建設が順次計画されています。新病院構想では、日本大学の全ての学部の叡智を結集した教育・研究・医療が有機的に結びつく新たな全学的な学術拠点として、次の百年を担う人材育成と医学の発展をめざしてまいります。

この記念行事に御協力と御参加くださったすべての関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、これからも日本大学医学部の新たな挑戦への変わらぬ御支援をお願い申し上げます。私たちは、この百周年の機会に、改めて「良き臨床医の育成」「優れた医学研究者の育成」「熱意ある医学教育者の育成」の理念を胸に刻み、次の百年に向けて、より一層教育・研究・医療の質向上に努めてまいります。

日本大学医学部に関わる全ての皆様の、今後益々の御健勝と御発展を心より祈念申し上げます。

(60回生 救急医学系救急集中治療医学分野)



(写真 1) 動画「百年の歴史を振り返り」説明中



(写真 2) 鏡開きのメンバーが壇上に集合